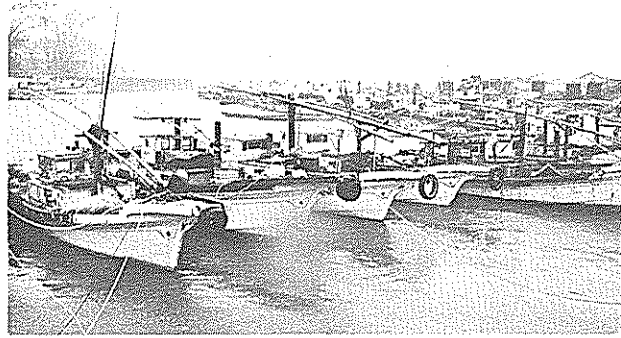
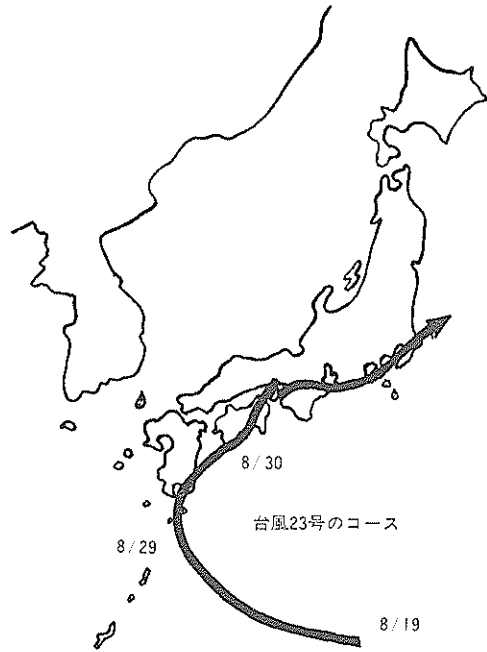


台風23号の足あと



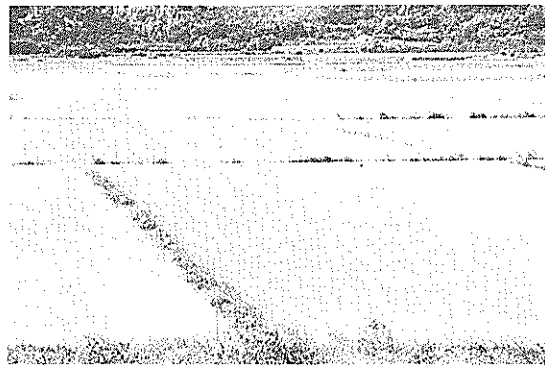
▼19日/南鳥島の南方に弱い熱帯性の低気圧が発生▼21日/台風23号と名付ける▼29日/九州南方に接近▼29日6時/高潮、洪水注意報▼9時/中心気圧920hPa、最大風速50km/h、半径300kmは風速25km/h超大型の台風へ成長▼11時/県庁で県防災会議▼12時/暴風、波浪警報▼21時30分/災害対策本部を設置、第1配備につき警戒パトロール、消防署、消防分団も警戒態勢をとって海岸線、稲生、野中地区を巡回▼30日8時/第2配備、市長以下100人の職員が警戒態勢▼9時/鹿児島県、佐多岬附近に上陸、中心気圧950hPa、風速35km/h、日向灘に抜け四国全域を暴風雨圏に巻き込む。足摺岬で37.5km/h、高知空港でも32.1km/hの風速を記録▼13時/雨

▲台風をのがれて市内の漁船は仁井田に避難しました。(30日午前11時)



配備の態勢ほとんどの職員が警戒態勢▼16時/足摺半島に上陸、最低気圧

◀いまなお冠水したままでいっこうに水のひく気配のない十市、東沢(9月3日午前11時)



台風の威力を発揮、高知空港では、1時間に45mmの雨量を記録、稲生の小久保部落では床下浸水が出始める。第3

975.8mm、降雨量は高岡郡東津野で降り始めて864mm、雨台風のため河川の増水やはらんが起り、道路網がいたると

◀7時間後には、腰まで水のたつ稲生、小久保(30日午後1時)

ころで寸断される。第4配備をとり全職員が被害調査や警戒態勢などにあたる。▼17時/足摺半島から土佐湾に進路をとる。対策本部もひと安心。しかし相変わらず雨はげしくなるばかり。笠の川地区では笠の川が増水、一面の海となり無気味な様相となる。稲生・小久保では床上浸水が出始め、家具の整理などにおおわらわとなる▼19時47分/高知空港附近に上陸、最低気圧975.1hPa。台風の目の中に入り風雨はおさまる▼23時2分/暴風、洪水警報解除、第4、第3、第2、第1配備を解く▼31日/被害調査、浸水家屋の防疫消毒、救援物資の送達▼9月3日/市議会の議員総会が開催される。7日/市長、議長上京して予算折衝にあたる。

帰ってきたウルトラ台風

高知空港に着陸 各所で出水相次ぐ



▲刻々と台風情報をつたえる新聞、台風23号は足摺→土佐沖→南国市と豪雨をもたらす。

台風23号は鹿児島県から日向灘を抜け、足摺半島に上陸、土佐湾を抜けて、市の高知空港附近に再上陸するというジグザクコースで大量の雨を降らしました。昨年の10号台風にくらべて風による被害は比較的に少なく済みましたが、笠の川や国分川、そして明見川、舟入川などが増水し

稲生(小久保、衣笠)十市(人形谷、土居谷)三和(里改田)大篠(新川町、朝日町、西野々)日章(下島)後免(東町)野田(下野田)長岡(宇田、野中)岡豊(笠の川、八幡)久礼田(久礼田)などで床上、床下浸水が相次ぎ、交通が途絶えました。また、野中、久礼田、稲生地区などでは、け

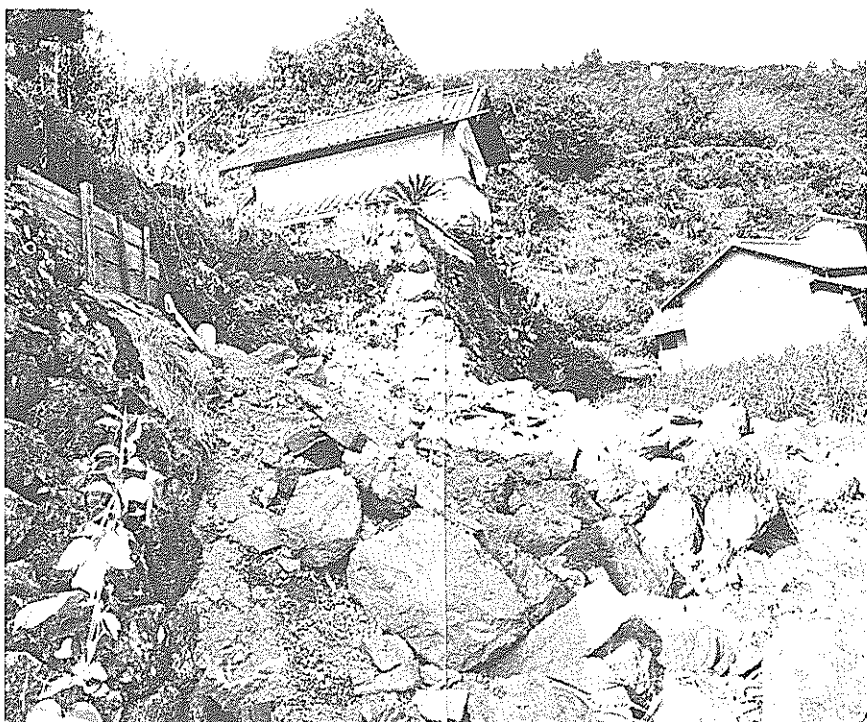


▲国分川が増水、はんらんし無気味な様相で水のおそろしさをみせつける。(30日午後4時岡豊橋から東を望む)

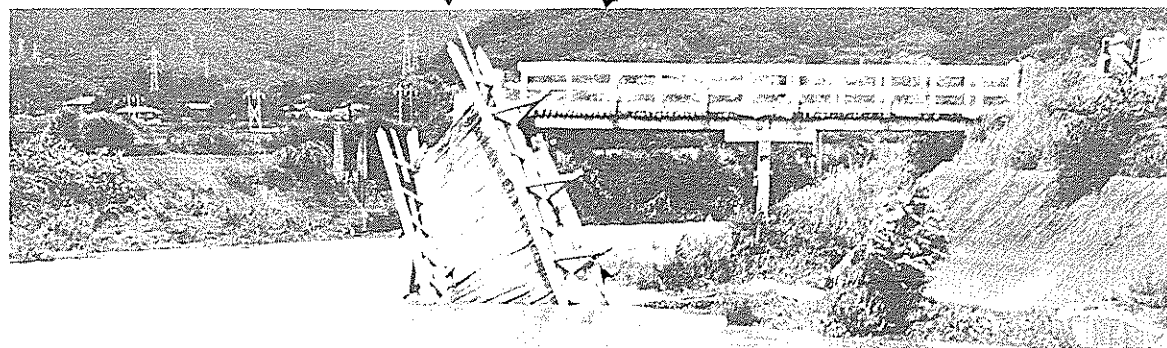
また、農産物、九千七百五十万円については、早稲六十万円、中稲五千六百十万円、その他野菜果樹など二千二百五十九万円、水道施設一万円、消防施設百二十一万円特につけくすれの被害は、三十三カ所、三十八世帯にのぼり、七千二百六十五万円、公共土木施設一千五百五十三万円、これは横田橋の流失五百万円、市内一円の路面流失七百万円などとなっています。

くすれが相次ぎ全壊家屋がどの今なお危険状態にあります。市の被害調査では、九月二日現在で被害総額二億五千二百万円、人的な被害は、稲生、野中で軽傷二人、住家の被害、全壊二むね、半壊六むね、一部破損十四むね、床上浸水二十三むね、床下浸水四百五十三むねで四百九十七世帯、一千七百六十一人が被害を受けました。被害の内訳は、学校施設、百十五万円、住家の被害、七百八十八万円、有線放送施設、三十万円、水産関係九百四万円、商工関係では、久礼田の高知被服四百五十万円などの一千四百四十五万円、農林施設、三千五百四十二万円については、農道奈路線の路側、路面の流出四百四万円、稲生承水路、二百五十万円、芦ヶ谷園地流出一千二百四万円、大平山ミカン園一千二百四万円などとなっています。

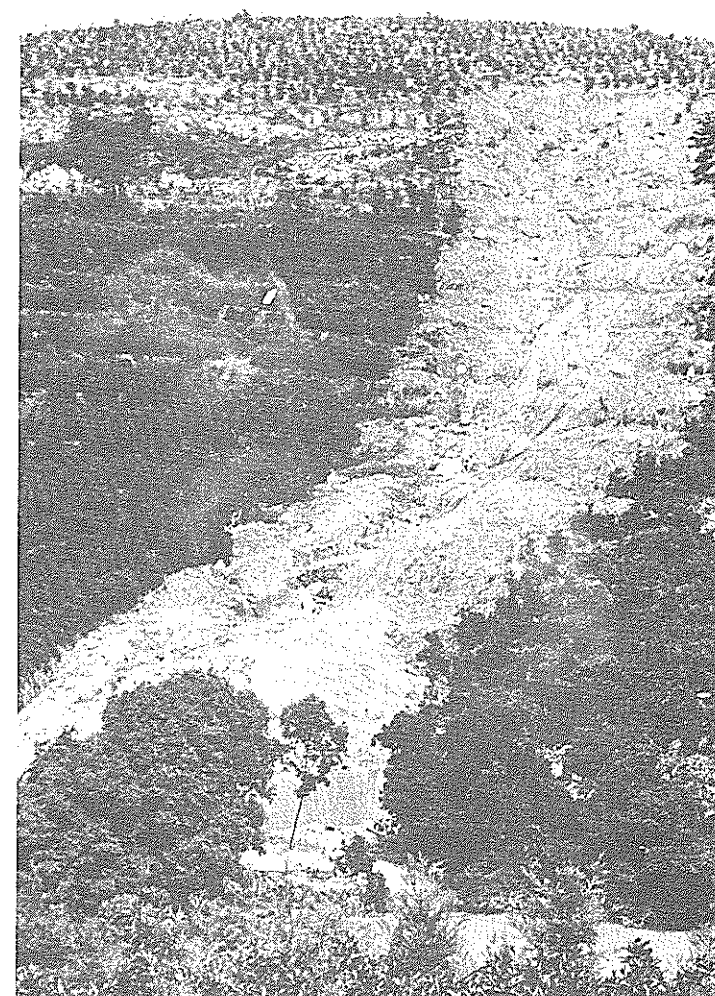
台風23号のつめあと



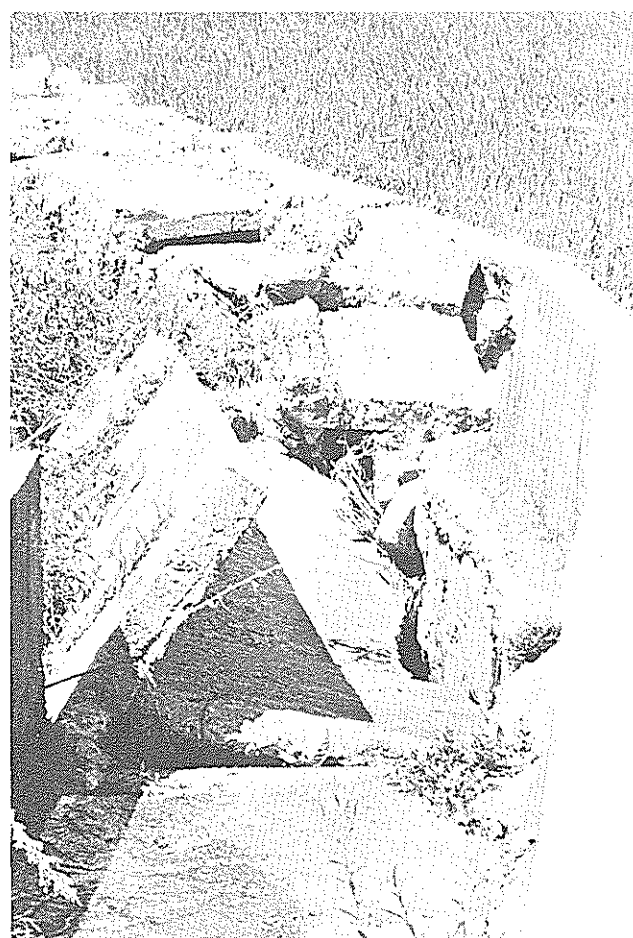
▲裏山からの鉄砲水は、石垣を一瞬にして破壊、がけくずれの被害は33カ所、7,265万円にのぼっています。——上倉・白木谷——



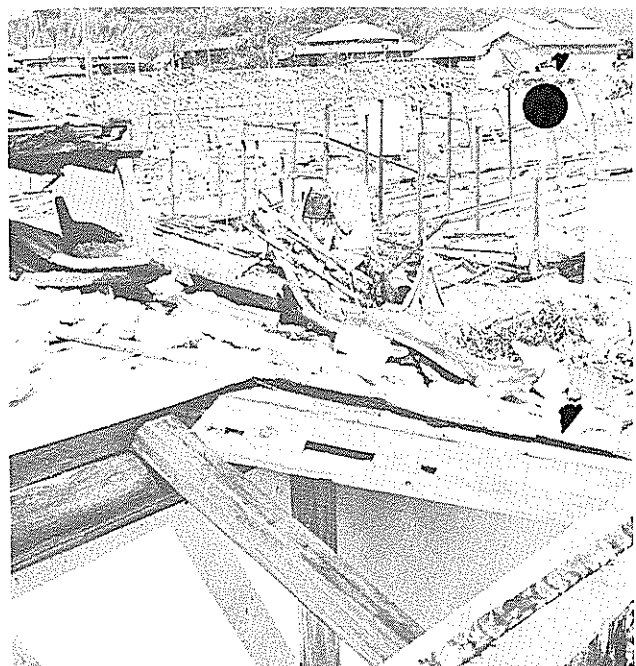
▲だく流に橋脚を洗われ、4分の1を残して流出した植田橋（巾4.5m長さ28m）中樫の刈り取りを間近かにして早期復旧が望まれています。——久礼田・植田——



▼大平山みかん園は、巾35m、長さ250mを流出、大きな被害となりました。——岡豊・笠の川——



▼稲生の承水路は、50mが決壊、小久保部落をおそった大量の水は床上浸水9世帯、床下浸水43世帯をだしました。——稲生・小久保——



◀屋根瓦はふっ飛び、ハウスは、鉄骨を残して跡かたもありません。——十市・八丁——

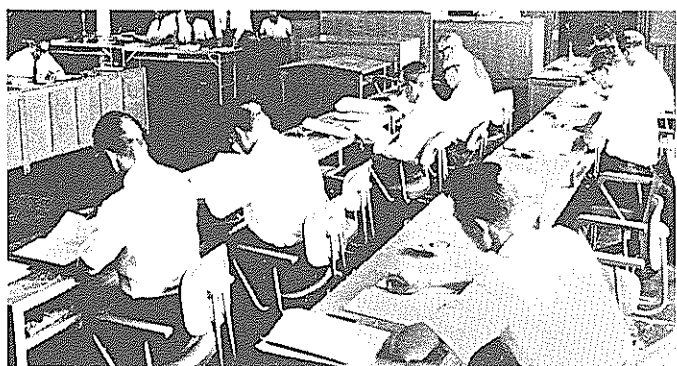
▶三反歩にわたってなし畑が流出、成木が無残に倒れ、成育したなしが散らばって当時のほげしさを物語っています。——稲生・芦ヶ谷——



被害総額 2億5千万円

予算は専決処分 早期に着工

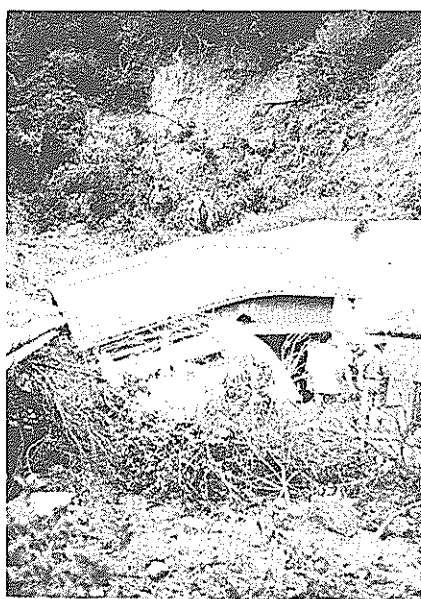
- ▽南国市議会は、九月三日、議員総会を招集し……△
- ▽……市長、助役から、台風23号の経過と被害……△
- ▽……状況の説明を求め、今後の災害復旧、防災体……△
- ▽……制に全力をあげることになりました。……△



今後の災害復旧を協議する議員総会

国、県へ強く要請

はじめに金堂市長から、昨年の10号台風のいたみがいえないうち、また、このような大損害を受けたことは、市政のためにも、個人の生活のためにも非常に大きな打撃です。不幸中の幸で、軽傷の二人のほかは、人身事故のなかったのはなによりですが、すみやかに復旧対策をとらなければ、日常生活にも公共生活にも支障がありますので抜本的かつ恒久的に対策をた



がけくずれで全壊した家屋(野中6区西)

に議会のご了解をお願いいたします。と、あいさつのあったあと国沢市

長公室長から、台風23号の経過報告と被害状況について、くわしく説明がありました。

天災、プラス人災

▼篠原地区がかなり浸水したが、これは湧水地帯を埋めたためたり市道を新設したためではないか事情をよく知っている職員に調査したが、新道のために著しく水害を受けたとは認められない。水害の問題はかなり考慮してやっています。

▼浜改田の第二放水路の工事、災害の時期にやるのはどうか。そのため鉄板が海に流れ込み、地引細漁などに被害がでている

と思うが。

▼工事は台風のシーズン以前にやるのが適当であるが、シラスウナギ漁の時期をはずしてくれとの要望もあった。

▼被害の調査はどのような方法でやっているか。調査のぬかりが十分ある。

状況を議会に報告すること、ちくいち県の対策本部に報告をしなければならぬことから調査もればあると思ふ。

長期の治水計画を

▼中小河川は荒れ放題になってい

べき時代である。水を治めるものは国を治めるといわれるが、抜本的な治水計画を望みたい。

▼がけくずれについては大きな被害がでている。これは生命にかかわることであるので早急に実施された。

専決で復旧を

▼今度の災害で、市当局の姿勢に市民は好感をもっている。補生

の小久保はしよう水溝が決壊して床に浸水したが、補助対象になってもならなくても早急に施行しなければ、田畑が流出する。災害復旧事業については、理事者の努力におまかせすることにして、どしどし専決処分ですべてはしい。

▼補助がつかなくても、岡山農政局の許可を受けて早急に実施したい。

災害復旧に全力を

市長 金堂久喜

市は、台風襲来の情報と同時に、二十九日午後九時三十分警戒態勢をとおり、市長、助役を中心として、職員はもとより議会、消防署、消防団員などの一致した努力により万全の配備をととのえました。台風一過、何分にも広範囲の被害を受けましたが、不幸中の幸で、人命には犠牲がなく、憂慮していたほどの被災にならなかったことを、せめてもの救いと考えています。

市の被害総額は、二億五千二百六十万二千円で一世帯当たり一万二千円になっています。

台風23号による被災世帯の方々には心からお見舞いを申し上げます。八月三十日午後七時四十七分台風23号は、瞬間最大風速三十二、一

その後の復旧はいかがでしょうか。家庭の浸水、倒壊、がけくずれなどの復旧に今さら、ご苦労のことと思ひます。

写真上は緊急課長会議で指示する金堂市長

